

# ほくよう道徳だより

北陽小学校

2016. 7. 19

1学期号

小学校は2018年度から、中学校では2019年度から、道徳の時間が「特別の教科 道徳」として、教科化されます。道徳が教科化されることで、これまでの道徳とどのような違いがあるのか、また、なぜ教科化へと至ったのか等について、道徳だより1学期号でお知らせしたいと思います。

裏面には、道徳の授業における、子どもたちの振り返りを載せましたのでご一読ください。

## 道徳の教科化が求められる背景

- ・ 大津のいじめ自殺等、いじめによる自殺があとをたたない時代背景
- ・ すべての学校で、すべての先生が同じ程度に道徳の時間の指導をできるようにならないか  
(学校、先生によって道徳の指導に格差があるということ)
- ・ すべての子どもたちの手元に教科書が行き渡れば、どこの学校も同じ程度の教育が行われるのではないか。

このような問題から



## 考える道徳、議論する道徳へ

これまでの道徳

### 読み物道徳

気持ちの変化をとらえる  
人物の気持ちに共感させる  
読み取り×

### 押し付け道徳

何が大切か  
どうすることが望ましいのか



これからの道徳

### 考える道徳

自分自身を見つめる  
人物と共感し、自分との関わりの中で気持ちを想像する

### 考える道徳

どのようなわけで大切なのか  
どうすることが考えられるのか



## <道徳の時間に大切にしていきたいこと>

- ・ **考える過程**が大切であり、さまざまな関わりを通して自分が経験したことを自分の言葉で表現できる
- ・ 自分の本音と向き合い**学んだこと**を普段の生活で**実践しようとする意欲を高める**